

●卸売業、小売業ともに年間商品販売額は川崎区が第1位

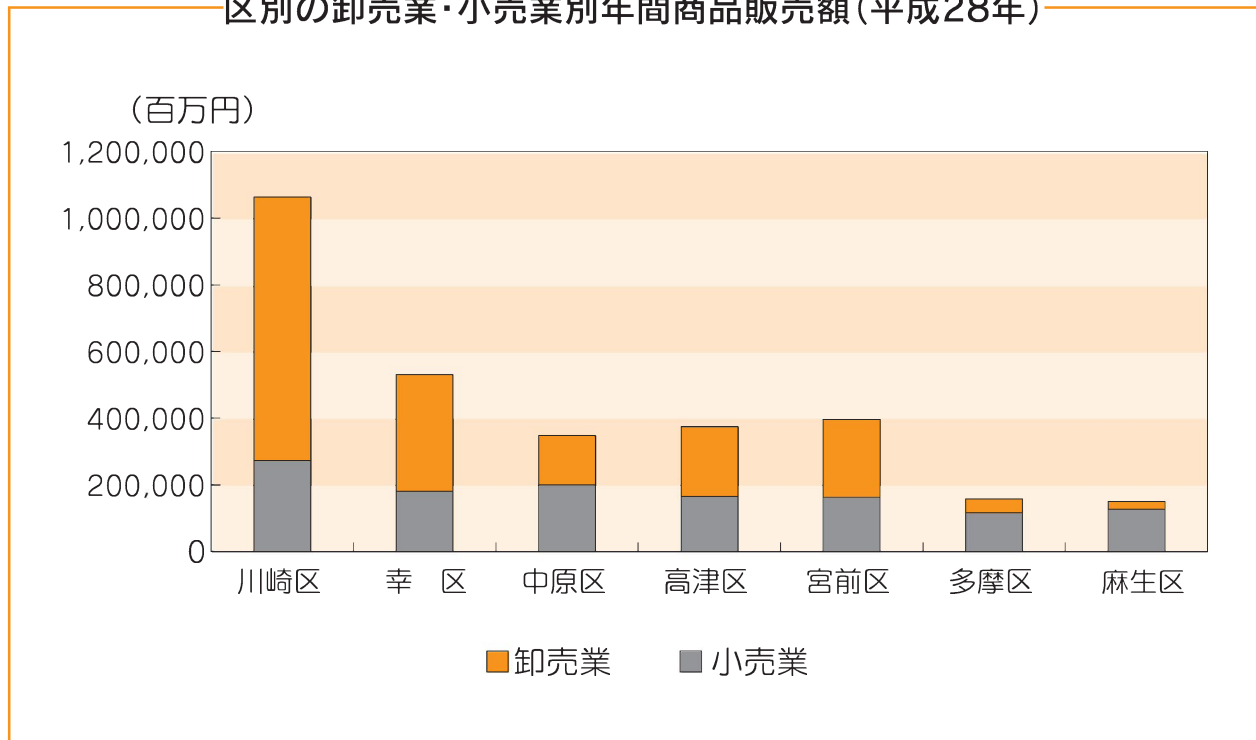
(単位：事業所、人、百万円) (平成28年6月1日)

区 別	卸売業			小売業		
	事業所数	従業者数	年間商品販売額	事業所数	従業者数	年間商品販売額
川崎市	1,362	17,749	1,794,458	5,332	56,435	1,228,743
川崎区	427	5,933	789,752	1,283	11,485	273,357
幸 区	186	3,986	349,578	696	7,695	181,349
中原区	150	1,856	148,290	989	9,799	200,113
高津区	157	2,310	208,957	679	7,384	166,055
宮前区	244	2,504	233,164	497	6,994	163,382
多摩区	104	530	41,990	688	6,915	116,420
麻生区	94	630	22,727	500	6,163	128,067

*年間商品販売額は平成27年1年間の数値

(経済センサスー活動調査)

区別の卸売業・小売業別年間商品販売額(平成28年)



データチェック

平成28年経済センサスー活動調査結果をみると、卸売業の事業所数は1,362事業所となっています。区別にみると、川崎区が427事業所で最も多く、次いで宮前区が244事業所、幸区が186事業所の順となっています。年間商品販売額は1兆7,945億円で、区別にみると、川崎区が7,898億円で最も多く、次いで幸区が3,496億円、宮前区が2,332億円の順となっています。

小売業の事業所数は5,332事業所で、区別にみると、川崎区が1,283事業所で最も多く、次いで中原区が989事業所、幸区が696事業所の順となっています。年間商品販売額は、川崎区が2,734億円で最も多く、次いで中原区が2,001億円、幸区が1,813億円の順となっています。

卸売業の概況

●事業所数、従業者数及び年間商品販売額は「機械器具卸売業」が第1位

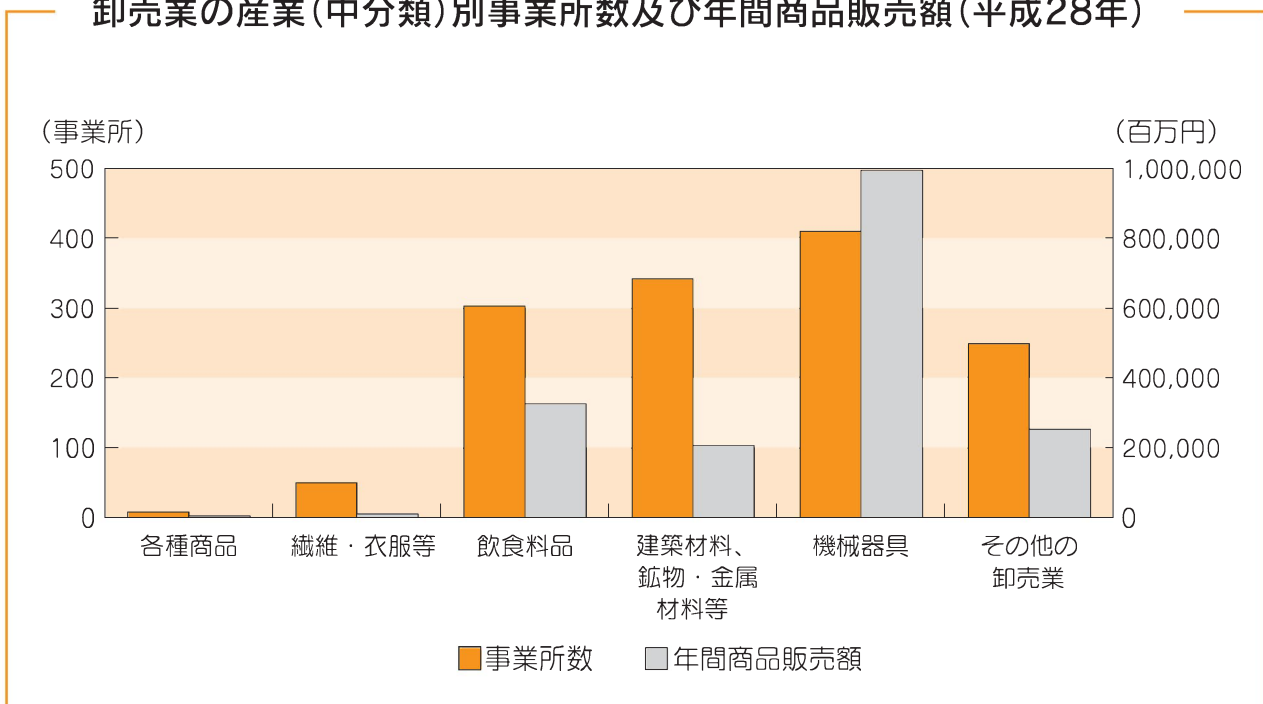
(単位：事業所、人、百万円)(平成28年6月1日)

産業(中分類)別	事業所数	従業者数	年間商品販売額
卸 売 業 計	1,362	17,749	1,794,458
各 種 商 品	8	149	4,703
織 維 ・ 衣 服 等	50	385	10,820
飲 食 料 品	303	3,509	325,687
建築材料、鉱物・金属材料等	342	2,689	206,369
機 械 器 具	410	8,173	993,829
そ の 他 の 卸 売 業	249	2,844	253,051

* 年間商品販売額は平成27年1年間の数値

(経済センサスー活動調査)

卸売業の産業(中分類)別事業所数及び年間商品販売額(平成28年)



データチェック

卸売業を産業(中分類)別にみると、事業所数は「機械器具卸売業」が410事業所で最も多く、次いで「建築材料、鉱物・金属材料等卸売業」が342事業所、「飲食料品卸売業」が303事業所の順となっています。従業者数が最も多いのは「機械器具卸売業」で8,173人、次いで「飲食料品卸売業」3,509人、「その他の卸売業」2,844人の順となっています。

年間商品販売額は「機械器具卸売業」が9,938億円で最も多く卸売業計の55.4%を占めています。次いで「飲食料品卸売業」が3,257億円、「その他の卸売業」が2,531億円の順で、従業者数と同様となっています。

小売業の概況

●従業者数は「飲食料品小売業」が約5割を占める

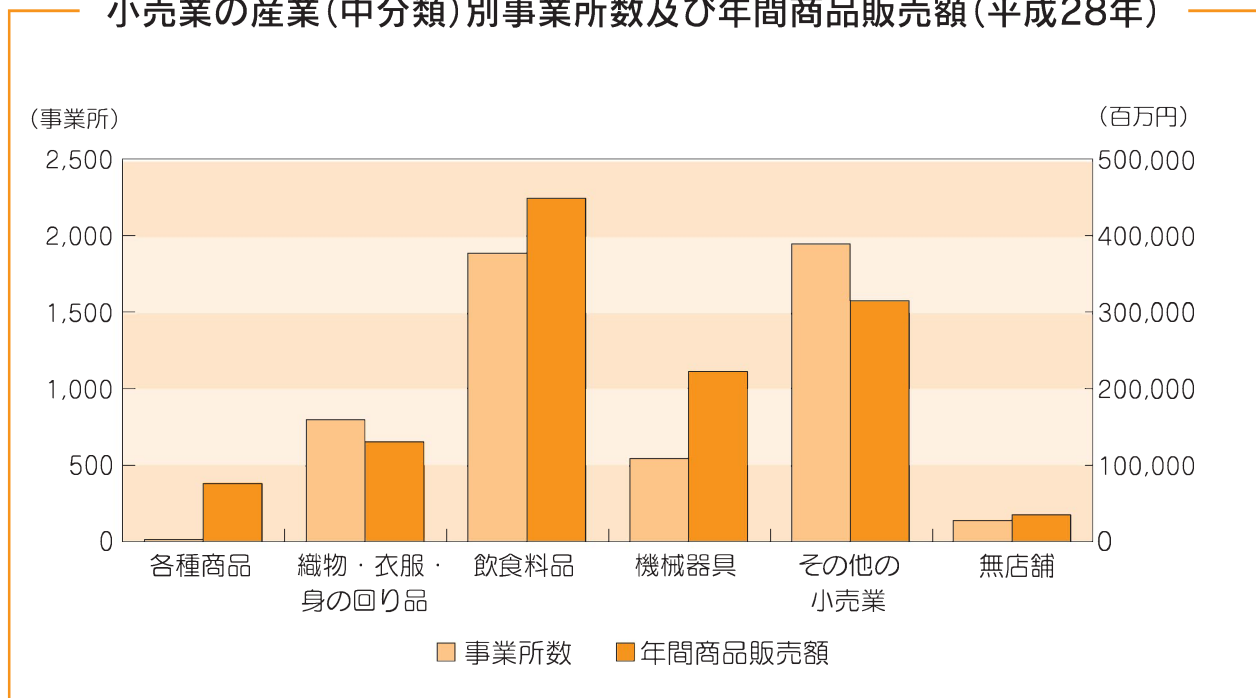
(単位：事業所、人、百万円)(平成28年6月1日)

産業(中分類)別	事業所数	従業者数	年間商品販売額
小 売 業 計	5,332	56,435	1,228,743
各 種 商 品	17	2,162	76,538
織 物・衣 服・身 の 回 り 品	799	5,858	130,494
飲 食 料 品	1,885	27,524	448,763
機 械 器 具	545	4,972	222,659
そ の 他 の 小 売 業	1,947	14,772	314,709
無 店 舗	139	1,147	35,579

* 年間商品販売額は平成27年1年間の数値

(経済センサスー活動調査)

小売業の産業(中分類)別事業所数及び年間商品販売額(平成28年)



データチェック

小売業を産業(中分類)別にみると、事業所数は「その他の小売業」(医薬品・化粧品小売業、燃料小売業、書籍・文房具小売業など)が1,947事業所で最も多く、次いで「飲食料品小売業」が1,885事業所、「織物・衣服・身の回り品小売業」が799事業所の順となっています。

従業者数は「飲食料品小売業」が2万7,524人で最も多く、小売業全体の48.8%を占めています。次いで「その他の小売業」が1万4,772人、「織物・衣服・身の回り品小売業」が5,858人の順となっています。

年間商品販売額は「飲食料品小売業」が4,488億円が最も多くなっています。次いで「その他の小売業」が3,147億円、「機械器具小売業」が2,227億円となっています。

●売場面積は増加、従業者数及び年間商品販売額は減少

(単位：事業所、千平方メートル、人、百万円)

項目		平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
事業所数		46	44	43	45	45
売場面積		221	202	198	207	210
従業者数		5,541	5,449	5,308	5,471	5,238
年間商品販売額		174,892	177,032	166,858	168,747	166,072
内 訳	紳士服・洋品	6,943	6,382	4,901	4,458	4,087
	婦人・子供服・洋品	15,975	14,886	12,475	10,951	9,894
	その他の衣料品	1,959	1,948	1,617	1,476	1,224
	身の回り品	6,293	6,273	4,917	4,184	3,885
	飲食料品	107,037	114,293	114,597	117,635	117,573
	家具	1,731	1,810	1,462	1,164	748
	家庭用電気機械器具	3,558	3,341	3,380	3,266	2,884
	家庭用品	4,229	4,256	3,283	3,150	2,950
	その他の商品	24,771	22,056	18,848	21,799	22,540
	食堂・喫茶	2,397	1,787	1,378	663	288

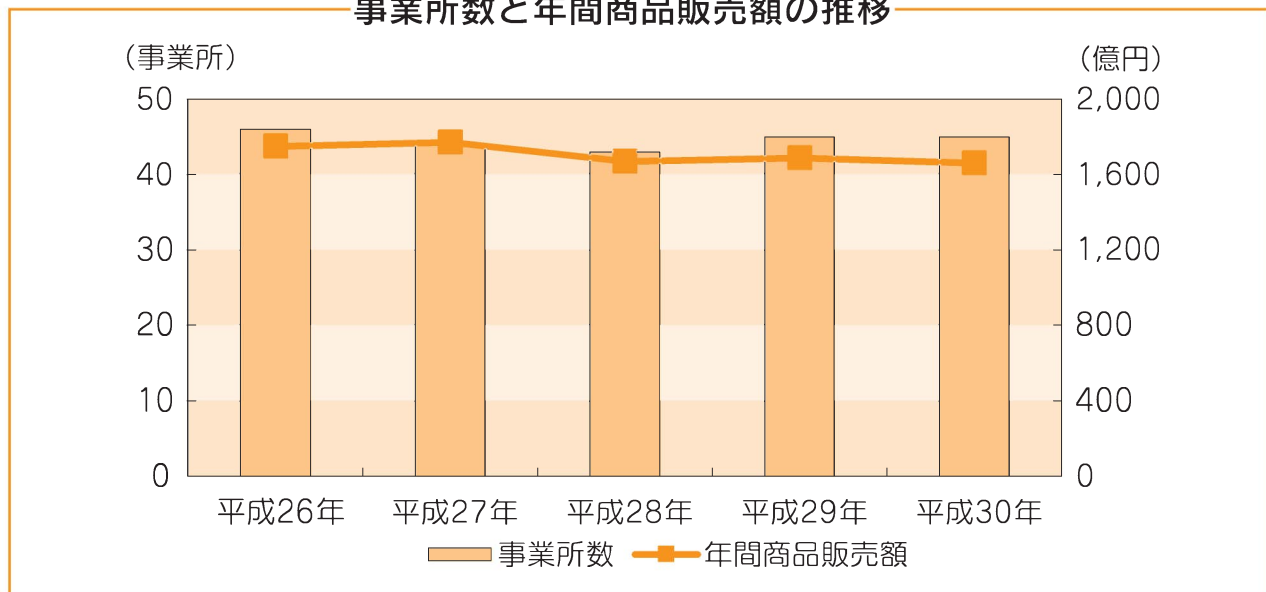
* 事業所数、売場面積、従業者数は12月末現在の数値

(商業動態統計調査)

* スーパーは、売場面積の50%以上がセルフサービス方式で、売場面積が1,500平方メートル以上の事業所

* 百貨店はスーパーに該当しない事業所のうち、売場面積が3,000平方メートル以上の事業所

事業所数と年間商品販売額の推移



データチェック

平成30年の百貨店・スーパーの事業所数は45事業所、売場面積は21万㎡、従業者数は5,238人、年間商品販売額は1,661億円となっています。事業所数は増減がありませんでしたが、売場面積は前年と比べて3,000㎡増加しています。また、従業者数は233人、年間商品販売額は26億7,500万円それぞれ減少しています。

年間商品販売額の内訳をみると、「飲食料品」が1,176億円(年間商品販売総額の70.8%)で最も多く、次いで医薬品、化粧品などが含まれる「その他の商品」が225億円(同13.6%)、「婦人・子供服・洋品」が99億円(同6.0%)の順となっています。